２．平成20年度第二次補正予算による主な事業のポイント

＝＝＝＝＝＝＝河川事業＝＝＝＝＝＝＝

【福島河川国道事務所】

・　阿武隈川郡山左岸横塚地区（郡山市）で洪水時に堤防への水の浸透・漏水を防ぐため、“***堤防の質的整備***”を図り洪水に対する安全性の向上を図ります。（事業費　240百万円）

＝＝＝＝＝＝＝道路事業＝＝＝＝＝＝＝

【福島河川国道事務所】

・　高速道路ネットワークを形成する“***東北中央自動車道（福島～米沢）***”（福島市）において、事業を推進します。（事業費　100百万円）

【郡山国道事務所】

・国道４９号と主要地方道会津坂下会津高田線が鋭角に接続する”福原交差点（会津坂下町）”において、右折レーンの整備をはじめ、交差点の形状を改良し、交通の円滑化及び交通事故の削減を図ります。（事業費　21百万円）

【磐城国道事務所】

・　災害発生時の緊急輸送路である国道６号***”鮫川大橋橋梁補修”***（いわき市）において、塗装塗り替えを実施し、橋梁の長寿命化及び安全性の向上を図ります。（事業費　60百万円）

＝＝＝＝＝＝＝港湾事業＝＝＝＝＝＝＝

【小名浜港湾事務所】

・　***“小名浜港東港地区（おなはまこうひがしこうちく）　多目的国際ターミナル整備事業”***（いわき市）において、護岸（防波）の整備を推進することにより、多目的国際ターミナルの整備進捗を図り、滞船の解消など安定した荷役の向上に寄与します。

（事業費　700百万円）

【福島県】阿武隈川上流
郡山地区堤防の質的整備を推進



阿武隈川上流　郡山左岸地区堤防整備事業（直轄）

【補正事業費：２４０百万円、完成・供用目標：平成２１年度】

・横塚地区のドレーン工等（L=９４０m）の整備を実施し、堤防の質的整備を図ります。



補正予算の投入効果

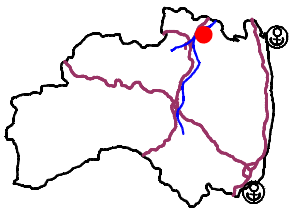
・補正予算を投入することで、郡山市横塚地区の一連堤防整備を図り、洪水に対する安全性の向上を図ります。

事業名	東北中央自動車道　福島JCT～米沢IC

事業着手：平成10年度

事業の必要性・事業の概要

福島県



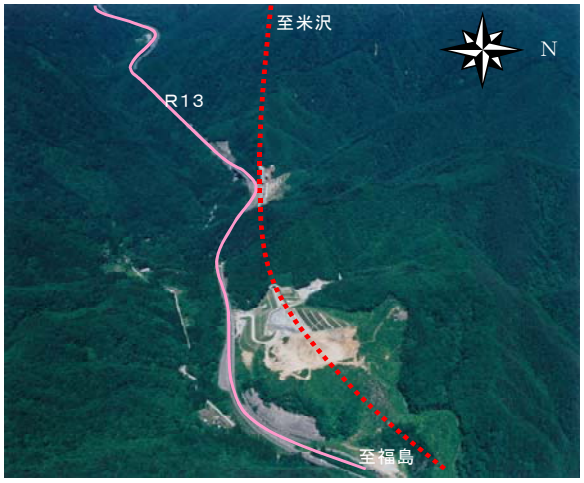
「事業の必要性」

東北中央自動車道は、南東北における高規格幹線道路網を形成し、地域間交流はもとより、緊急時における代替および迂回路等のネットワーク機能の強化のため、整備を進めるものです。

「事業の概要」

東北中央自動車道の福島JCTから米沢ICまでを整備するものです。





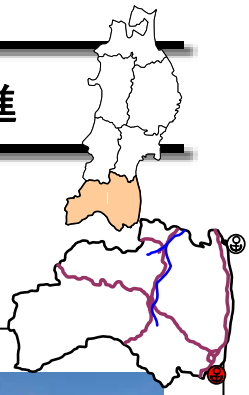
平成20年度補正予算による事業内容

○補正予算を投入することで、橋梁工事等を継続推進します。

事　業　効　果

○自動車専用道路の整備により、福島～米沢両市間の所要時間を大幅に短縮します。

【福島県】小名浜港東港地区 護岸防波（Ⅰ区）整備促進

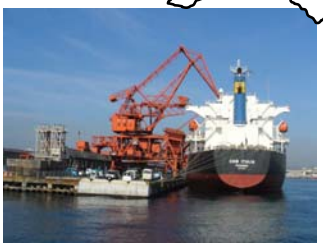


●小名浜港東港地区　多目的国際ターミナル整備事業（直轄）

【補正事業費：７００百万円、完成・供用目標：平成２５年度】

・護岸（防波）の本体工（Ｌ＝157m）等を実施し、事業の進捗を図ります。







▲安定した

補正予算の投入効果

・補正予算の投入により護岸（防波）の整備を推進することにより、多目的国際ターミナルの整備進捗を図り、滞船の解消など安定した荷役の向上に寄与します。